

# 竜巻・突風防災マニュアル

安全教育部会

## 1 学校管理下

竜巻・突風発生（竜巻注意情報の発表）



- 教職員 → 児童への避難指示、健康・安全確認
- 屋内で：窓、カーテンを閉め、窓からできるだけ離れ、机を集めてシェルターを作り、身の回りの物で頭と首を守る。（だんご虫）
- 屋外で：活動や遊びを中止し、空の様子に注意して直ちに校舎内（頑丈な建物）に避難。間に合わなければ窪地や溝などで → だんご虫  
※物置やプレハブには避難しない。
- 負傷者発生の場合 → 救急車要請（119）
  - ↓
  - 応急手当
  - ↓
  - 保護者へ連絡

※校外活動を実施する時は、事前に天気予報を確認し、天候が急変した場合にはためらうことなく計画を変更・中止する。

## 2 下校時

竜巻・突風発生（竜巻注意情報の発表）



### ○学校内にいる場合

- ・教室に待機
- ・竜巻・突風が長時間続く場合（下校時刻を過ぎる場合）
  - ↓
- ・保護者の迎え要請（メール配信）

### ○下校途中の場合

- ・近くの頑丈な建物に避難
- ・窪地に身を伏せ → だんご虫
- ・車庫や物置、プレハブには避難しない。
- ・橋や陸橋の下には行かない。

## 3 緊急時の引き渡し方法

- ①お迎えをお願いする時は、メール配信しますが、大きな被害で停電になった場合、電話やメールが使えない可能性があります。停電になるような被害が発生した場合、授業の継続は困難ですので、速やかにお迎えをお願いします。
- ②「個人調査票」に記載された方に、本人確認をし引き渡します。
- ③緊急時、お迎えの車は正門（北門）から校庭に入り、東門へ出る一方通行をお願いします。

## 4 登校前に竜巻・突風（竜巻注意情報の発表）が発生した場合

空の様子に注意し、安全に通学できると保護者の方が判断できるまでは、児童を自宅に待機させてください。

## 5 登下校中に竜巻・突風が発生した場合

近くの頑丈な建物に避難させてもらい、天候が回復したら登下校します。登下校の途中で竜巻・突風が発生したら、近くの家や建物に避難させてもらうことを話し合っておいてください。